

地域のみんなで備えよう しおばら 防災だより



その「大丈夫」が一番の危険！
わが家の避難プランを確認しよう

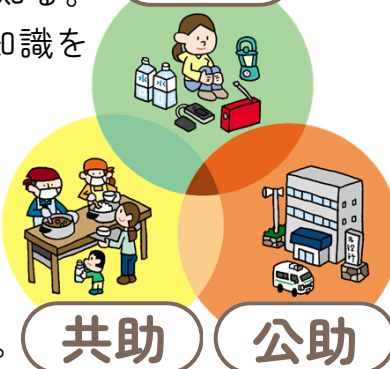
近年、全国で頻発するゲリラ豪雨や土砂災害。台風や大雨は、地震と違って「事前に備える時間」があります。「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨て、早めの行動で大切な命を守りましょう。

災害対策の基本は「自助・共助・公助」

被害を最小限に抑えるには、行政の助け（公助）や地域の助け合い（共助）だけでなく、自分自身の備え（自助）が大切です。

- **知識を身につける**
どこが危ないかを知る。
「警戒レベル」の知識を
- **備蓄する**
水や食料を最低
3日分は用意する。
- **情報を受け取る**
「警戒レベル」に
応じた行動をする。

自助



共助

公助

那須塩原市「防災ハザードマップ」
を活用しよう！

那須塩原市防災ハザードマップには、以下の重要な情報が掲載されています。

- **浸水想定区域**：河川が氾濫した時に浸水する恐れがある場所
- **土砂災害警戒区域**：土砂崩れなどが起きる危険がある場所
- **避難所一覧**：どこに逃げるかを確認

最新情報は市のホームページをチェック！ハザードマップ作成後に新しく指定された区域もあります。大雨・台風シーズンを前に、最新の情報を確認しておきましょう。



防災ハザードマップがご家庭に無い方は、塩原支所、箒根出張所、塩原公民館、ハロープラザにてお受け取りください。

市ホーム
ページ▶



この記事についての問い合わせ先

裏面もご覧ください

那須塩原市塩原支所

電話：0287-32-2911

メール：shiobara-shisho@city.nasushiobara.tochigi.jp

目指そう！
防災に強い
まちづくり

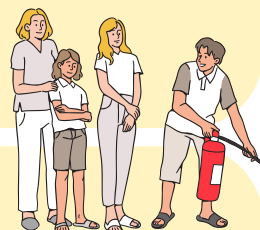
自主防災組織

塩原は15地区で
結成！
(塩原地区6、箒根地区9
※令和8年4月時点)

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という理念のもと、地域住民が自主的に結成する組織です。災害時に、地域における被害の拡大を防止するためには、住民一人ひとりが自分の身を守り、互いに協力し合いながら防災活動に取り組むことが大切です。

自主防災組織のつくりかた

- ①自治会の役員会で、自主防災組織の必要性や地域の課題について話し合う
- ②自主防災組織の基本的な事項の案をまとめる（組織体制と役割分担、規約、防災計画など）
- ③総会で可決する
- ④市に結成届を提出する



活動の例

- 平時 防災知識の普及・地域の災害危険箇所の把握・防災訓練の実施 など
- 災害時 近所への声かけ・安否確認・避難誘導・出火防止・初期消火 など

市が組織の結成・活動を支援します！

- 結成支援
 - ・組織の結成方法や規約のつくり方などの支援を行います
 - ・地域に職員が出向いて、自主防災組織の必要性や活動内容について説明します
 - ・組織の結成にかかる費用を助成します (注)結成前に塩原支所にご相談ください
- 活動支援
 - ・防災訓練や普及啓発活動など、自主防災組織の活動にかかる費用を助成します
 - ・防災資機材等購入のための費用を助成します
 - ・防災訓練や防災活動の実施にかかる活動支援を行います

自動でスイッチON！「防災ラジオ」のご案内

携帯電話を使わない方も大切な情報を受け取れる「防災ラジオ」を貸し出しています。
対象者は無償で借りられます（対象者以外の方は有償1,000円～）

- ・電源が切れていても、市からの防災情報を自動で放送します
- ・普段はコンセント、停電時は電池へ自動で切り替わります
- ・放送を聞き逃しても、後から聞き直すことができます

詳しくは
市ホーム
ページへ

